

令和8年度「生物セミナー」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
生物セミナー		選択 選択	2 2	グローバルコミュニケーション 普通科文型
教科書 副教材等	高等学校 生物基礎（数研出版） 共通テスト対策 チェック&演習生物基礎（数研出版） 短期攻略 大学入学共通テスト 生物基礎（駿台受験シリーズ） 共通テスト対策 直前演習 生物基礎（ラーンズ）			

1 学習目標

2年次の「生物基礎」では、「生物の特徴」、「遺伝子とそのはたらき」、「生物の体内環境」、「生物の多様性と生態系」について学習しました。得た知識を用いて自然界で見られる様々な生物に関する事物や事象を学び、自然化学的なものの見方ができるようになりましょう。

また、この授業では大学受験に向けて、大学入学共通テストや個別試験に対応した問題演習を進めていきます。これらの問題演習を通じて、入試問題に対応できる実践力を身に付けていきます。

2 学習概要

- ・チェック&演習生物基礎を解きながら、生物基礎の復習を行う。
- ・大学入学共通テストに向けての実力をつけるための演習を行う。
- ・大学入学共通テストで生物基礎が必要な国公立大を希望する生徒、および、私大（看護医療系等）で生物基礎が必要な生徒が選択しているはず。50分間、ただ座っているという無意味な時間とならないように自主的に学ぶ。

3 学習方法

（1）授業への取組

- ①授業が一番の基本です。集中して授業を聞き、知識や考え方をしっかり身に付けてください。
- ②復習する際は教科書およびノート・プリントを読み返し、知識や考え方を再確認してください。
- ③問題集を解いて、知識・考え方の確認および定着を図ってください。
- ④間違えた問題を中心に、もう一度問題を解きなおしてください。テスト前までに問題集を必ず2周以上してください。

（2）家庭学習

日々コツコツと学習をしていきましょう。余裕のある生徒は、参考書を活用して自主学習をすると、長期記憶に繋がります。学問に王道はありません。

（3）学力向上のために

生物は、単語を覚えればそれで良いという学問ではありません。どのような仕組みではたらいっているのかなど、学習の流れを体系的に理解するようにして下さい。『日常生活における生物の知識』が、生物をより魅力的なものへと変えてくれるはずです。

＜自立した学習者になるために＞

- ・模試はやりっぱなしにせず必ず復習してください。模試復習用のノートをつかって模試をやり直し、解けなかった問題や曖昧だった問題をまとめてください。模試をやり直すだけで、その問題に関連する分野の学習も出来るので、とても効率良い学習となります。
- ・今すぐに志望大学の過去問を見て傾向をつかんでください。特に国公立大学を中心に論述問題が多く出題されるので、早めの対策が必要です。

4 評価について

（1）評価方法

「知識・技能（①）」、「思考・判断・表現（②）」、「主体的に学習に取り組む態度（③）」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・定期考査（中間・期末考査、学力テスト）……………①、②
- ・小テスト……………①
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③

・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考・判断・表現 (②)	主体的に学習に取り組む態度 (③)
評価規準	生物学の基本的な概念や原理の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	生物的事物・現象を対象に、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈の導出などの探究の方法を習得している。	生物的事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。

5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい (内容のまとめごと)	考査等
一学期	<生物基礎の復習> 1 生物の特徴 2 遺伝子とそのはたらき 3 ヒトの体内環境の維持 4 生物の多様性と生態系	チェック & 演習生物基礎を解きながら、生物基礎の復習を行う。	・中間考査 ・期末考査
二学期	<生物総復習> ・分野別問題演習 ・総合演習	問題演習を通した生物の総復習	・中間考査 ・期末考査
三学期	<生物総復習> ・分野別問題演習 ・総合演習	問題演習を通した生物の総復習	